



市章

広報 えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111 (代) / 〒243-04

世帯と人口	
昭和60年2月1日現在	
世帯	28,126世帯 (+20)
人口	91,193人 (+40)
男	46,820人
女	44,373人

毎月1日・15日発行

「コマの編渡り」を見つめる広井さん(写真中央、二月十九日、つば科学万博東芝ハビリオンで)



つくば科学万博



広井さん(上) 今泉が指導

科学万博つくばが三月十七日に開幕します。各ハビリオンで最新科学技術の紹介がされますが、これらの中で東芝ハビリオンの、日本の伝統芸能と最新科学技術がドッキングしたロボットの前奏曲「コマ」が評判を呼んでいます。市内上今泉在住の江戸コマ作りの職人、広井昭昭さん(も)は、この企画の指導・監修に当たりました。広井さんに話を伺いました。科学万博会場を訪ね、この「ロボットが演ずる曲コマ」を取材しましたので紹介します。

ロボットが曲コマを演ずる!!



メーカー側でロボットコマを回させようとしたのは、日本のロボットの優秀さを示すということ、それも人間の形をしたロボットでは、産業用ロボットを使って見せようという考えがあり、「曲コマ」という伝統芸能を組み合わせたら面白いのでは、という発想があったからです。これを始める前に、江戸コマ作りの職人、自らも曲コマを愛する、どの曲コマに、実際に可能かどうか、という相談が去年一月にありました。その時、広井さんは「ロボットの性能だけではできません」と返答、それから実験が始まりました。

広井さんはロボットの技術者にコマに関する力学、演技の原理、歴史的なことを詳しく説明したり、実験の助言をしたりしました。

「コマの重さは重すぎると抵抗が強くなって回転が早く止まってしまいます、反対に軽すぎると回転力が弱くなってしまいます。また、軸の先は、球状でないとコマは回りにくいですが、先がどがつたほうがよく回ると思っている人が多いですね。これの初歩的なことその他に私がコマを回して演技の動きを説明しました」とこの時のように広井さんは話していま



ロボットが演ずる曲コマショーでは、「刃渡り」「棒渡り」「二段コマ」「網渡り」の四種類の演技を六台のロボットを使って見せます。ロボットは、腕が一つなので、コマに回転を伝えることはできず、コマを回すにはモーターを回す原理が使われています。コマの中に回転体を入れ、電気を通したコイル



なコマに加えて、千種類以上の創作コマを考案しています。小田原などで作られているコマのほとんどが、広井さんの創作コマから出たものが多いそうです。

広井さんは、風鈴、かんざし、組むも、ちよらん、竹細工などの仲間と伝統工芸を後世に残そうと各地で普及に努めています。海外へ行くことも多く、一昨年アメリカのシアトル市を訪ねた時には、同市の名誉市民第一号の称号を贈られました。



科学万博の開演期間は、三月十七日から九月十六日まで。時間は四月二十一日までは午前九時から午後七時まで、その後は午前九時から午後九時まで。

東芝ハビリオン(た)でも見学に三、四十分かかります。会場には国内二十八、国外四十九のハビリオンがあり、全部見るのに三日かかるそうです。

各ハビリオンとも、特に子供たちが喜びそうな企画を用意しており、家族で一度見学に行かれてはいかがでしょうか。

コマなどの材質の基礎実験が九月まで続き、その後ロボットを使った実験を繰り返して、演技の成功率がほぼ一〇〇%に達したのは、十二月になってからでした。

「得意では思っていました、が、これだけの短期間で完成させては、日本のロボット技術の優秀性はさすがだと思いましたね。しかし、これは徹夜で実験をするなどいろいろな人が地道な努力をしたからだと思います」と広井さんは、影の力を強調しています。

ロボットがコマを力の上に集せたり、棒の上に集せたりするのは位置決めという技術で、コマ何ミリという正確さを要します。

このショーは全部で八分間、ナレーションを落語家の三遊亭夢之助さんが担当し、全体の雰囲気盛り上げています。またロボットがコミカルな動きをしたりしておもしろさを出しています。

プレイ・ガイド

ファミリーコンサート

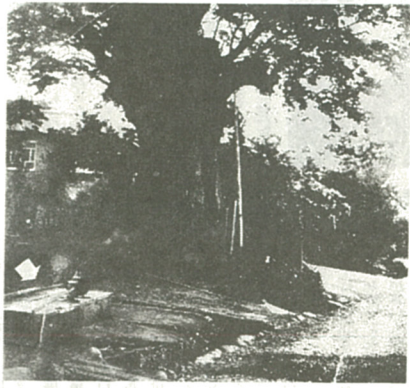
「窓ぎわのトットちゃん」



黒柳 徹子

特別出演 黒柳 徹子
管 弦 奏 新星日本交響楽団
指 揮 佐藤 功太郎

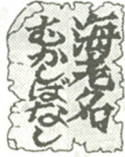
5月12日(日)午後2時開演、市文化会館。内容は黒柳徹子の語りによる音楽物語「窓ぎわのトットちゃん」、ヨハン・シュトラウスのワルツ「春の声」、赤堀文雄編曲「日本の四季」、スメタナ・交響詩「モルダウ」。入場料はA席2,500円、B席2,000円(全席指定)、団体割引あり。前売り開始は3月10日(日)午前9時から、電話予約は午後1時から。主催は海老名市・市文化会館事業協会(☎32・3231)。



大げやきのそばにあった、水道から引いた水溜(た)め=矢印。上にあるのは長柄の水くみ用のひしゃく(故押田龍治氏が改正末期に撮影)

火の番小屋も料亭福本の傍らに建設した。雨籠水(木製の手押しポンプ)である龍吐水(のどろ)を八王子の取扱店から当時としては

は続けられた。明治二十七年七月河原口の望月石材店と弁財天を注文し取り口に建設した。惜しいかな、いまの石仏は見当たらない。翌三十八年には江の島講をつく



新道の水道

その二

で、毎どこかを補修しなければならなかった。そこでまず水溜め桶は切り石で二平方メートルのものにし、その後送水管を鉄管に切り替えた。こうした経費は当初非常積立新母子(たのもし)掛金

の一部分を積み立てたが、これは一回限りで、その後は月掛積金をしてこれに当てた。大正のある年の積立金は一戸当たり十二銭ぐらいで、水溜水の料率や豆腐屋などはこれより多く負担した。

昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま

小屋の火事を他山の石としてか、特に火の番二人を雇い警戒に当た

第四話
非常用水重費を免じた事業であったが、皮肉なことに明治三十七年暮には組員の家が四戸焼け

昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま

と時に応じた問題を協議し、その後は親睦(ほく)をはかる飲み講に移った。昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま

明治十八年には大谷の仙波宮司を頼み、初めて水種まつりを催した。以後明治年間はずっとこの祭

天に参詣に行った。なおこの年には大げやきのそばの吉田屋の屋敷内で、神楽を奉納し水神の霊を慰めた。

非常に水重費を免じた事業であったが、皮肉なことに明治三十七年暮には組員の家が四戸焼け

と時に応じた問題を協議し、その後は親睦(ほく)をはかる飲み講に移った。昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま



笑いとお歌につつまれて、もちつき大会



収穫祭でもちつき

「次は私がもちをついわ」二月八日、大谷中学校 関松天校長生徒八十六人で収穫祭が行われ、二年生三百八十一人が校庭でもちつき大会を行った。この催しは勤労生産学習の一環として行ったもの。大谷中では土に親しむ機会が少ない生徒に農業の苦労、もち米のでき方を学習させるため、PTAの協力を

得ながら四年前から行っている。去年六月に、学区内の木田野きん(農業、60歳)の田んぼ七百九十平方メートルの田植え、十月の刈り入れと脱穀など、すべて生徒自身が行った。初めきんを持つ生徒が多く、うすの緑(へり)をつくこともたまたま、校庭は笑い声や歌声に包まれた。もちをつくと、田植えや刈り入れの苦労もスカンと消えた。またPTA役員からは、農作業を通して子供たちにふれあいが持たせたいといった喜びの声が聞かれた。

海老名のみそ

農家の若い主婦が仕込み

農家の若い主婦で構成する「海老名のみそ」(武井正子会長、会員27人)が伝統的な農家の食生活を残そうと、五年前から海老名の地みそづくりに取り組んでいる。今年も一月一日から国分市の農協青年部・婦人部センターで会員が順々に仕込みを始めた。

農家の主婦といつてもみそづくりの経験者ばかりではないので、県生活改良普及員の小出晴美さんなどが指導をしている。材料は大豆十二時、米十二時、塩四時。大豆をゆで米を蒸すようにして三者を混ぜあわせてすりつぶし、たねに仕込む。約一年ほどねかせると、風味豊かな寒仕込みみそ(うじみそ)五十分が仕上がる。

「ワンワン、かわいい」と突然訪れた犬やウサギなどに園児は大喜び。二月十三日、市立下今泉保育園(川村程子園長、園児74人)で「小動物のふれあい教室」が開かれた。これは平家の県動物保護センターが小学校低学年以下を対象に動物を大切にしようとおうと開いたもの。

この日連れて来られた犬、ウサギ、ハムスター、アヒル、ニワトリ、ウシなどが園児の注目を集

日本民謡では、ささら踊りも... 作品展示室は黒山の人

と時に応じた問題を協議し、その後は親睦(ほく)をはかる飲み講に移った。昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま



海老名で作った大豆と米で、みそ作り



「ホク、きみにたかれて幸せだワン!!」

動物、大好き

下今泉保育園で一日動物園

家で動物を飼っている子供は、すぐに抱きかかえたりしていたが、動物と接する機会が少ない子供は恐る恐る手を伸ばしていた。それでも、小犬を抱いたり、ハムスターをつまみあげたりして動物たちとのふれあいを楽しんだ。最後にセンターが用意した十個の風船に「動物を大切にしよう」と書いて園児の手で飛ばした。

出来ばえ見て!! 文化発表会で園児が熱演 「私たちの日頃の成果を見て下さい」と青少年文化発表会が二月三日、午前十一時半から市文化会館で開かれた。文化活動発表会は、去年まで子ども文化発表会として行われてきたが、今年は一国際青年の年」でもあり、青年層の方にも広く参加してらおうと開催。当日は、はやし、世界各国の民謡や踊り、マジックなど四十三の活動発表に八百九十人が出席し、延べ四千八百人が観覧した。出席者の子供たちは「練習は学校が終わってからでいい、二回だけ、心配していない、早くやりたい」と自信満々。また、同会館展示室では作品発表が行われ、展示された作品にジッと見入る者、批評を加える者さまざま。黒山の盛況であった。

と時に応じた問題を協議し、その後は親睦(ほく)をはかる飲み講に移った。昭和三十三年興営水道が敷設されたのはよかったが、四十年上の台地造成に伴う堂坂の切り下げ、続いて国道二四六バイパス現興道(横厚木線)工事による丘陵の北部の切断など悪条件が重なって水漏れがほとんど枯涸してしま